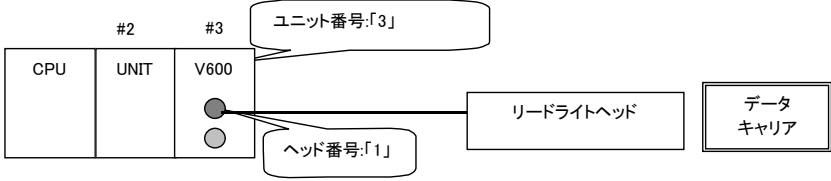
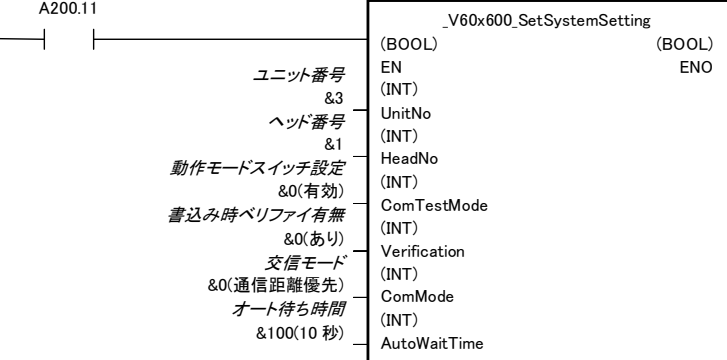


V60x600 システム設定のセット _V60x600_SetSystemSetting

機能概要	ID センサユニットのモード設定を行います。																			
シンボル		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">_V60x600_SetSystemSetting</td> </tr> <tr> <td>(BOOL)</td> <td>(BOOL)</td> </tr> <tr> <td>EN</td> <td>ENO</td> </tr> <tr> <td>(INT)</td> <td>UnitNo</td> </tr> <tr> <td>(INT)</td> <td>HeadNo</td> </tr> <tr> <td>(INT)</td> <td>ComTestMode</td> </tr> <tr> <td>(INT)</td> <td>Verification</td> </tr> <tr> <td>(INT)</td> <td>ComMode</td> </tr> <tr> <td>(INT)</td> <td>AutoWaitTime</td> </tr> </table>	_V60x600_SetSystemSetting		(BOOL)	(BOOL)	EN	ENO	(INT)	UnitNo	(INT)	HeadNo	(INT)	ComTestMode	(INT)	Verification	(INT)	ComMode	(INT)	AutoWaitTime
_V60x600_SetSystemSetting																				
(BOOL)	(BOOL)																			
EN	ENO																			
(INT)	UnitNo																			
(INT)	HeadNo																			
(INT)	ComTestMode																			
(INT)	Verification																			
(INT)	ComMode																			
(INT)	AutoWaitTime																			
ファイル名	Lib¥FBL¥omronlib¥RFID¥V600¥_V60x600_SetSystemSetting10.cxf																			
対象形式	ID センサユニット	形CS1W-V600C11/V600C12, CJ1W-V600C11/V600C12																		
	CPU ユニット	CS1*-CPU**H ユニットバージョン 3.0 以上 CJ1*-CPU**H ユニットバージョン 3.0 以上 CJ1M-CPU** ユニットバージョン 3.0 以上 CP1H																		
	CX-Programmer	バージョン 5.0 以上																		
使用言語	ラダー言語																			
使用条件	<p>■CX-Programmer の設定</p> <p>ID センサユニット関連 FB は、ファンクションブロックのアドレス割付にて保持以外のエリアが H512 以降(初期値設定)では動作しません。必ず CX-Programmer にて本値を、使用していないエリア(例えば DM や EM)に変更してください。本値はメニューバーから[PC]ー[ファンクションブロックメモリ]ー[ファンクションブロックアドレス割付]から変更ができます。</p> <p>使用していないエリアを指定してください。 必要なサイズは、使用する FB の種類や数によって異なります。 既にラダープログラム上で使用しているエリアを指定した場合や容量が足りない場合は、CX-Programmer がコンパイル時にエラーを表示します。</p> <p>例えば、 D32020 から D32767 の 748CH 分を使用する場合は 左記のように指定します。</p> <p>■ID センサユニットの状態</p> <p>ID センサユニットがビジー中の場合は NG フラグを ON し、本 FB の機能を実行しません。</p>																			
機能説明	<p>「ユニット番号」・「ヘッド番号」で指定したデータキャリアに対して動作モードを設定します。</p> <p>起動トリガを ON すると、動作モードを設定し、リスタートを開始します。</p> <p>本 FB では、ユニットリスタート中の排他処理は行っていません。完了の確認を行いたい場合は、AR「高機能IOリスタート中フラグ」を参照してロジックを作成してください。</p>																			
FB 定義の種類	1 サイクル実行型 本 FB は、起動時に処理を完了します。 内部で状態を保持しないため、同じインスタンスを複数箇所で使用することができます。																			
EN の入力条件	任意の接点を指定できます。																			
制限事項	<ul style="list-style-type: none"> 入力変数の値が範囲外の場合、ENO を OFF し、FB の内容は実行しません。 1 ヘッドタイプ(CS1W-V600C11, CJ1W-V600C11)はヘッド番号を必ず&1 としてください。 																			

<p>使用例</p>	<p>運転開始時にユニット番号 3 の ID センサユニットのヘッド 1 を設定します。</p>  
<p>関連マニュアル</p>	<p>「ID センサユニット ユーザーズマニュアル」(SCLB-707) 4-2.初期設定データの割付 ■データメモリの割付内容」</p>

■変数テーブル

【INPUT】(入力変数)

名称(和文)	変数名	データ型	初期値	有効範囲	説明
EN	EN	BOOL			1(ON): FB を起動する 0(OFF): FB を起動しない
ユニット番号	UnitNo	INT	&0	&0~&95	
ヘッド番号	HeadNo	INT	&1	&1~&2	&1: ヘッド 1 &2: ヘッド 2(2 ヘッドタイプのみ)
動作モードスイッチ設定	ComTestMode	INT	0	&0~&1	&0: 有効 &1: 無効
書き込み時ベリファイ有無	Verification	INT	0	&0~&1	&0: ベリファイあり &1: ベリファイなし
交信モード	ComMode	INT	0	&0~&1	&0: 通信距離優先 &1: 通信速度優先
オート待ち時間 (0.1 秒単位)	AutoWaitTime	INT	0	&0~&9999	&0: 無限

【OUTPUT】(出力変数)

名称(和文)	変数名	データ型	有効範囲	説明
ENO (省略可)	ENO	BOOL		1(ON): FB が正常に動作した 0(OFF): FB は起動していない/FB が異常終了した

■バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00	2004.6.	新規作成